

2023年度 つむぎ調布ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア (最大スコア5)	改善策・ご意見への対応について
業務改善について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.0	お子さま、保護者様、そしてカフェを利用する近隣の方が安心して過ごせる地域に開かれた施設となれるよう、引き続き努めてまいります。
	Q3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.4	十分な休憩、休暇を取ることで、リフレッシュし仕事への活力となるよう、日々の業務調整や勤務調整に努めてまいります。
	Q4	保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.1	日々の保護者様との関わりから得たご意見やご意向をスタッフ間で共有し、どのように改善・対応することが良いのかの話し合いから方向性を揃えてまいります。引き続き、必要に応じて業務改善をし、より良いルームを目指してまいります。
	Q5	スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.7	法人内で実施される研修や、自治体の研修を受講する機会を確保しております。引き続き、ルーム内で研修を実施するなど積極的に参加しスキル向上に努めてまいります。
	Q6	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		引き続き、日々の業務を見直し、スタッフの皆様が安心してよりよく働くことができるような仕組みを整えてまいります。
	適切な支援の提供について	Q7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.6
Q8		グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.1	プログラムの立案方法等、支援目標に沿ったものになっているのかどうか、お子さまの姿の分析や支援記録を通してアセスメントする中で客観的に捉えられるように努めてまいります。
Q9		活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.3	活動プログラムの展開や充実、バリエーションが増えるようにスタッフ間での共有および他ルーム研修を実施したりすることで、支援の幅を広げられるように努めてまいります。
Q10		プログラム開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.1	支援内容につきましては、支援前に共有するだけでなくその日の支援の振り返り時に、次回の見通しまで確認できるよう努めてまいります。また、お子さまが主体になっているか、スタッフ間の役割分担ができていくかの事前確認を大切にしております。
Q11		支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.3	支援終了時にはスタッフ間で必ずその日のうちに振り返りを行い、客観的に多角的に分析できるように努めてまいります。引き続き、支援の質の向上に努めてまいります。
Q12		日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.9	法人内で決められたフォーマットを使用し、日々の記録を基にアセスメントし、支援の検証・改善に繋げております。より記録および検証・改善がしやすいフォーマットを検討してまいります。
Q13		定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	4.6	モニタリングを大切に、保護者様とコミュニケーションを取ることを心掛けております。定期的に保護者様に直近のご家庭での様子や所属園での様子を聞き取りする中で計画に反映させ提示、ご同意をいただいております。
Q14		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.1	日々の支援の中で日常生活動作の自立や、質の向上に繋がるような遊びや活動を実施し、お子さまが意欲的に取り組むことができるよう、引き続き工夫してまいります。
Q15		適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。		適切な支援につながる日々の支援後のアセスメントを大切に今後実施してまいります。また、
保護者様との連携や関係機関について		Q16	日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.1
	Q17	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	4.3	必要に応じて所属園の訪問実施や電話でのやり取りを行っております。引き続きお子さまの生活基盤である所属園との情報共有を大切にしております。
	Q18	児童発達支援事業所同士で連携をとり、利用児についての情報共有、相互理解に務めているか。	3.9	他事業所をご利用中のお子さまに関しましては、保護者様やご利用中の相談支援事業所を通して共有し、つむぎでの支援に汎化できるよう努めてまいります。
	Q19	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.6	他事業所へ移行される場合や放課後等デイサービスに移行される場合、保護者様からのご要望に応じて情報提供をさせていただいております。
	Q20	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.1	自治体主催の研修等に参加する中で、支援について共有させていただき日々の支援に活かせるように努めてまいります。
	Q21	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.9	地域の自立支援協議会や社会福祉協議会など積極的に参加し、地域に根付いた事業緒を目指してまいります。
	Q22	障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。	3.9	戸外活動時や近隣園とのイベントでの関わり、きょうだい児との関わりを通して機会を設定させていただいております。
	Q23	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.3	商店街ツアーやつむぎカフェの開放など、引き続き地域に根付いた事業所を目指してまいります。
	Q24	保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	3.9	保護者様の今抱えている悩みを共有できるような関係性を構築し、引き続き保護者様の真のニーズを汲み取れるように努めてまいります。
	Q25	関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。		子どもを取り巻く関係機関と個別支援計画等を用いて情報共有をし、よりよい環境について保護者様と共に考えてまいります。

2023年度 つむぎ調布ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

保護者様やお子さまへの対応などについて	Q26	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.0	分かりやすく簡潔に且つ丁寧に伝えることをスタッフ一同、心掛けております。保護者様が安心してお子さまを通わせられるよう努めてまいります。
	Q27	保護者様からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.1	保護者様からの悩みや疑問を真摯に受け止めお答えできるよう、スタッフ一同心掛けております。保護者様が安心してお子さまを預けられるよう、努めてまいります。
	Q28	保護者様同士が集まれる場の提供など、保護者様同士の連携につながる支援を行っているか。	4.1	グループ支援の裏など保護者様同士でも会話が広がるような介入を心掛けております。
	Q29	子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.3	保護者様からのご意見は、スタッフ間で共有し迅速な対応を心掛けております。
	Q30	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.0	体験学習のお知らせのみならず、調布市で実施されるイベント等、カフェの掲示板を利用し発信させていただいております。
	Q31	障害のある子どもや保護者様との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.0	誰が聞いても分かりやすい言葉掛けをスタッフ一同意識して日々の支援にあたっております。
	Q32	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	4.1	個人情報の取り扱いに関しては細心の注意を払っております。お預かりしている情報は引き続き厳重に管理をしております。
	Q33	スタッフ同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.0	日々の朝礼、終礼、ケース検討会議、支援の振り返りを通して共有しております。
	Q34	保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。		引き続き、情報共有を密に行い、安心して通っていただけるよう、必要に応じて迅速に対応してまいります。
	非常時の対応について	Q35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.1
Q36		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.4	毎月、避難訓練を実施しております。災害時に備えた動きを確認することで、非常時にも対応できるよう引き続き努めてまいります。
Q37		虐待を防止するため、スタッフの研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.3	研修を実施する他、スタッフ間で互いに日々の関わりを客観的に振り返れるよう心掛けております。また虐待について具体的に行動レベルに落とし、意識を高めてまいります。
Q38		ヒヤリハット事例集を作成して、ルーム内で共有しているか。	4.1	引き続き、インシデントに繋がる前段階での共有を大切にしております。
Q39		非常時の対応について、ご提案をお聞かせください。		毎月、避難訓練を実施しております。災害時に備えた動きを確認することで、非常時にも対応できるよう、努めてまいります。
満足度について	Q40	子どもは必要な支援を受けられていると感じていますか。	4.1	必要な支援を提供できるよう、引き続きスタッフの支援の質の向上に向けて自己研鑽してまいります。また適切なアセスメント、情報共有を大切にし、お子さま主体の支援を行ってまいります。
	Q41	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.3	つむぎの様子やご家庭、所属園での様子を共有していただく中でも日々小さな成長から大きな成長まで共に感じております。引き続きこの喜びを共有する中でスタッフの励みとしてまいります。
	Q42	設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。		引き続き地域に根付いた事業所を目指し、お子さま保護者さまと繋がる支援を大切にしております。

アンケート実施期間：2023年8月15日～9月5日

全回答数： 7

つむぎ調布ルーム
施設長 下町 紗世